My Favorite in Harp 's song

ハープ　私の1曲

第7回　ハープ奏者／講師
田村 真優　　『グランジャニー：ラプソディ』

突出した存在に出くわすと、人は呆然とするか、笑ってシャレのめすしかなくなる。日本が世界に誇る草加国際ハープ・コンクールの第11回アドバンス部門を制した経験をもつ田村さんは、まさに突出した存在だった。優勝の前年は次席に泣いたものの、翌年にはリベンジを果たした。当時、すでにコンクール荒しとしては有名で、同じコンクールにエントリーした奏者や同年代の奏者たちが、彼女に付けたあだ名が「マッハちゃん」である。難曲を涼やかな速弾きでこなす彼女の演奏を、皆はいつも口をあんぐりと開けながら聞いていたらしい。彼女をきっと天才だと確信していた向きが多かったであろうが、実は努力の人だと云ったら驚かれるだろうか。

ピアニストの母から英才教育を受けてきた田村さんは、自身もピアノからスタートした。だが自分も手が小さく苦労した母は、自分に似て手が小さい娘の将来のため、ピアノの鍵盤裏に重しを密かに付けていたという。それは彼女が他所の子のお宅に遊びに行って、そこにあったピアノを弾き、その後も他所で弾くと、とても速く弾けるので気付いたのである。差し詰め“音楽版大リーグボール養成ギプス”である。まるでテレビドラマのような話だが、母とすれば、手が小さくまして指先を伸ばしにくい彼女の先行きを案じればこその配慮であり、母のスパルタは深い愛情の裏返しでもあったのだ。その後、祖母が買ってくれていたハープに転向しても、この頃身に付けたストイックさと音楽に対する真っ直ぐな接し方は、いまも彼女の力の源泉となっているようだ。並々ならぬ努力を積み重ね、ハーピストとしての登龍門である草加に自信をもって臨んだ田村さんが選んだ曲、それが「グランジャニー：ラプソディ」であった。

周囲からマッハちゃんと呼ばれていたという客観的事実からも、たぶん演奏は周囲からは抜きん出ていたことは疑いがない。だが、結果は惜敗。母子鷹として頂点を目指してきた彼女が、恐らく初めて味わった挫折であった。しかも自発的に選んだ曲でもあったから、それなりにショックは大きかった。ちなみに「ラプソディ」と迷った曲は、「ルニエ：レジェンド」だったという。ハーピストなら、どちらの曲もできれば避けて通りたい曲の双璧だろう。すべて努力で克服してきた田村さんらしいのは、できないから演奏しないのではなく、弾きたい曲だから選ぶというところ。素人目には「何もそんな難しい曲を、一番あがりそうな大舞台で敢えて選ばなくても」と思う曲を演奏する。何かにつけ「やり遂げる」という基本的姿勢は、彼女の真骨頂といえる。

「ラプソディ」は、優勝を逃した翌年には弾かなかった。結局は、別の曲で優勝を飾った。なぜ1位に届かなかったか。自問自答の末、彼女は誰かとの競り合いより、さらに音楽と深く向き合う道を選んだ。結果、真の音楽家として目覚める啓示となったこの曲は、彼女の心の中で、今も深く刻まれている。

イベント・スクエア

EVENT SQUARE

＼注目!／
4/5▶4/11　マイケル・ルーニー、ジューン・マッコーマック&ミュージック ジェネレーション・リーシュ・ハープアンサンブル 日本ツアー2020 大阪、名古屋、横浜　（延期）

5/23　弟橘レイア グランドハープ弾き歌い&ピアノ バースデーコンサート ～絆～ 東京・スタインウェイサロン東京「松尾ホール」

5/23　梅津三知代 東京・オペラシティリサイタルホール

6/16　景山梨乃 東京・オペラシティリサイタルホール

●コロナウイルスの影響により、予定は流動的になります。

The Last Chorus

●10月15日14−19時の予定で、第一回「ハープ祭り」が、東京・古賀政男音楽博物館けやきホールで開催される。演奏参加者は5000円、来場者は無料。当日のハープレンタルも可能だ。古佐小基史、新井コルチ薫、市瀬薫、小林秀吏、斎藤葉らが、もっとハープを幅広く知ってもらおうと立ち上げたプロジェクトだ。参加者、ボランティアを現在募集中で、代表者／連絡先／参加人数／演奏時間／使用楽器数／レンタルの有無／曲目等を明記の上、harpmatsuri@gmail.comまで申し込む。留守録対応の☒ならば03-5422-7732。第一次締め切りは、6月30日まで。ふるってご参加を!

●Harp Lifeでは、ハープにまつわるコンサートやイベントの協賛／協力を無料で行っております。過去イベントでも、多くの成果を上げました。事前PRとして誌面もしくはWEBのHarp Lifeで告知します。但し、実施日3ヶ月を切った情報は、扱いかねますので予めご了承ください。お問い合わせ→ harplife@ginzajujiya.com
☎03-5635-3380（平日10:00−17:00）

●本誌と姉妹メディアであるハープライフWEBが好評展開中です。ぜひアクセスしてみて下さいね。

情報寄稿先：harplife@ginzajujiya.com　発行人/倉田恭伸　編集人/森　泰義

A MAGAZINE FOR THE HARP PLAYER

HARP LIFE

ハープと皆様を繋げる
オンリー・ハープなフリーペーパー

04
2020

Eleventh ISSUE
Vol.11

APOLLONIA

NAMM SHOW

Report / from L.A

世界最大規模の楽器ショー
「NAMMショー」へ
行ってみた

毎年アメリカで
開催されているNAMM ショーは、招待を受
けた楽器ディーラー、メーカー、アーティスト、プレス関係者な
どが入場できる、世界最大規模の楽器の祭典といえる。今年はディズ
ニーランドも程近い、ロサンジェルスのアナハイム・コンヴェンション・センターで、4
日にわたり開催された。

その一年の計を占う、楽器業界の重要なイベントであり、会場ではプレミアムなイベントが盛りだくさんだ。様々な楽器メーカーが、新製品を発表することでも有名で、その内容が大まかな各楽器業界の行く末を占う指針となるわけだ。ハープ業界も例外ではなく、たとえば一昨年のショーでは、次世代レバーハープ「デルタ」のお披露目として、サーシャ・ボルダチョフが会場中で精力的にデモ演奏を展開していたのも記憶に新しい。

今回のショーでは、インパクトある新製品が登場・・・という場面は見受けられなかったが、ハープ業界の地殻変動のような動きが垣間見ることができた。というのも、サルヴィ傘下であるライオン&ヒーリーが、ギター業界へ殴り込みをかけたからだ。これは会場でもちょっとした話題となっていた。同社は155年前に南北戦争終了後に産声を上げたのだから、いかに歴史があるかが分かる。最初は楽譜とピアノ関連、徐々にギター、バンジョー、チター、リードオルガンらが扱う楽器が加わり、業界でも有数の会社として認知された。ハープ製造はむしろその後で、1889年に最初のハープがリリースされている。

つまり、「ハープ会社がギター?」といぶかしく思うが、実は“回帰”であり、むしろ業界の先駆者のひとりでもあったというわけだ。これにより肝心のハープは今後どうなるのか。

すでに、ヨーロッパのサルヴィショップでは、かつて好敵手であった2社のハープは、いま何の衒いもなく同じ会社のハープ然として売られている。

そこから見えてくるものは?!ハープ界の近未来が透かし見えたような、予断を許さないNAMMでの展開であった。

NAMM Show Report

サルヴィ社長マルコ・サルヴィ（右）とライオン&ヒーリー社長ジャネット・ハレル（左）

発売以来、ジワジワと関心を集めつつあるデルタハープの展示

VIKTOR HARTOBANU

Talks

編集長インタビュー：ヴィクトール・ハルトバヌ

「富士山を観に日本へ来たいというハーピストがいるのだが、会ってみないか?」という知人の言葉が最初だった。日本人が誇らしく思う富士山に魅せられた…それが初来日の理由なのが何とも香ばしいわけだが、「そんな奇特な人ならば」と、ヴィクトール・ハルトバヌと東京・銀座で会ってきた。

この日ヴィクトールは、銀座十字屋でミニコンサートを開いていた。ドイツ人であり、ライプチヒでハープを学んできた彼らしく、「バッハ：目覚めよと、われらに呼ばわる物見らの声」「シュポア：幻想曲」「ゴドフロア：シルフの踊り」といったドイツ生まれの曲を披露。バッハでミスがあったものの、う、巧い。なぜ、現時点で世界トップ・レベルとして名を馳せていないのだろうか・・・自分の不見識を恥じながら、若くして老成したマスターを目の前に、そんなことを考えていた。

母がピアニスト、父がトロンボーン演者。音楽一家に育った彼は、ハープに出会うまでは相当ピアノを仕込まれていたようだ。今でもピアノは本職顔負けの上手さだ。後にハープへ一本化して頭角を現し、すでに18歳の時には英国の音楽大へ招かれ教鞭を執っており、著名な指揮者からの招聘も多い。ハープ演奏は素晴らしく、ますます今の過小評価が気になってしまう。だが、ここからが勝手が違った。彼がさほど有名でないことの理由に、教えることが好きで裏方にいたこと、CDなどのリリースがないことなどが挙げられると思うのだが、それに関するコメントもふるっていた。

シンプルに爪弾いたら出た、あの音。私はあの時の感動を生徒へいかに持続させるかに、今まで心を砕いてきたつもりです

「確かに、音楽を多くの人に届けようとするなら、CDの制作やドキュメント作りは、ひとつのアイデアかも知れないですね。でもいまはインターネットで自ら発信できるし、若い自分は今のところそれで十分です。昔のマエストロ、たとえばハイフェッツ（ヴァイオリニスト）は、録音はかなり晩年になってからだった。記録に残す価値のある曲を、自分の心技体が最も高まった時に、周囲に請われてようやく録音にOKを出したそうです。音楽は日夜変化し、一回たりとも同じ演奏はありません。私は、ハープ曲として自分が開拓した曲を、最高の状態で録音できると胸を張る時期には未だ達していませんから。結果は、後から自然についてくると思います」。

大抵は、これからの構想だとか、自らの華々しい演奏歴を語る奏者が多い中、一切の自慢話が出てこない。謙虚で冷静、自身を内省し、現状で成すべきことを確実にこなしているような印象がある。30歳になったばかりながら、もう10年以上、世界中でハープの教鞭歴があるが、それについても一家言がある。

「最初のハープの音を出した際の感動を覚えていますか? あれが、全てなのです。無邪気に、何の衒いもなくシンプルに爪弾いたら出た、あの音。残念なことですが、出会う先生によっては、技術だとか、演奏法だとか、ハープはけっして簡単には習得できない楽器なので、詰め込み指導をされているうち、嫌気がさしてしまう生徒も少なからずいるのです。

こんな綺麗な音が出せるのかと目を輝かせた子が、その輝きを失ってしまう。つまり先生とは、それほど重要な役割を担っています。私はあの時の感動を生徒へいかに持続させるかに、今まで心を砕いてきたつもりです」。

吐く言葉がいちいち真っ当なので、「近頃の若いモンは」という言葉は早々に引っ込めざるを得ない。稀にみる好青年である。ハープの音色に魅せられれば、ファンは自然に増える。もっとハープへの美意識を高めていきたいのだという。彼には、こんな経験があった。

「友人の子供が重病に伏せり、その子の臨終間際に頼むのです。『後生だから、息子をハープの音色で天国へ送ってあげてくれないか』と。こんな光栄なことってありますか? それほどの力が、ハープにはあるのです」。

ね、いいやつでしょ?

KOJI AMADA Collection vol.7

Point of PERFORMANCE

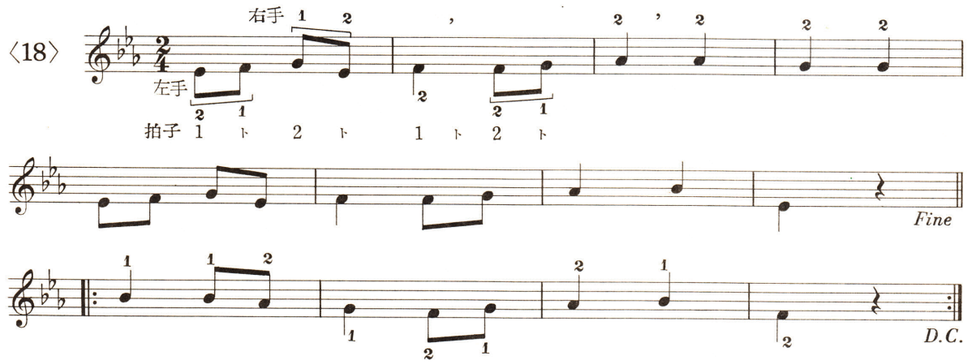
演奏のポイント

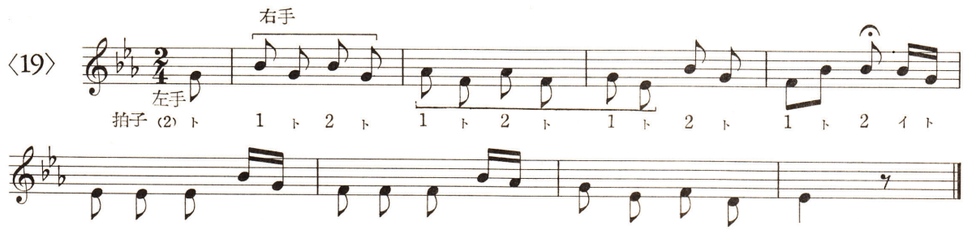
「LESSON3」の課題は、単旋律を左右の手を使って弾きます。ここは、「頭の体操」のように楽しく練習できるでしょう。「フレール ジャック」では、それを両手で応用します。「ひろい畑で」は、左手の脱力を意識して演奏しましょう。「おどり」は、拍子感を身につけられるように、3拍子のリズムを感じましょう。「春の日の花と輝く」のレバー操作の練習では、まず分解して理解してから、身体を通す作業と連動させるのが近道。流れが途切れない演奏を目指しましょう。

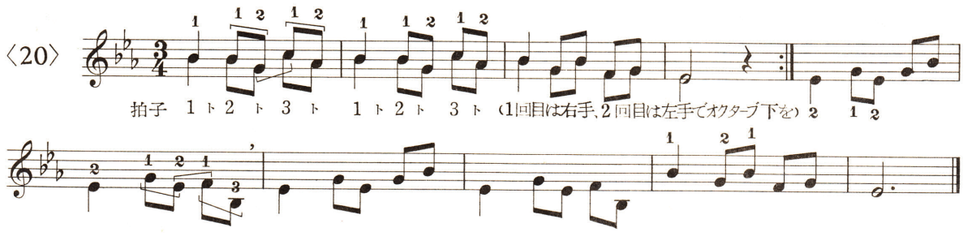
LESSON 3　小さい歌による　練習

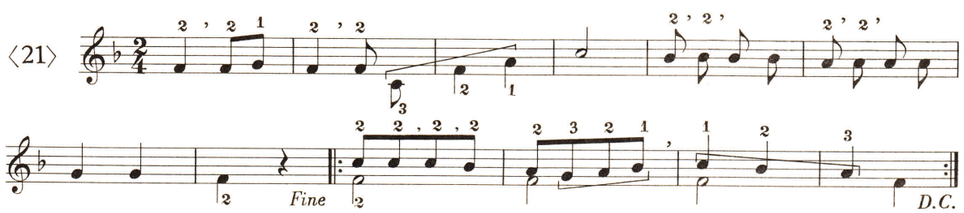
ここでは，気持ちをできるだけ自由に楽にして，楽しく練習してください。♩♩,♩は左手,♪♪,♪は右手でひきます。

手の形やひき方は，今までに学んだことをできるだけ活用して，はじめはゆっくりと。左手でひいている時は右手を休ませ，右手でひいている時は左手を休ませます。動作がだんだん曲のリズムにのるように。



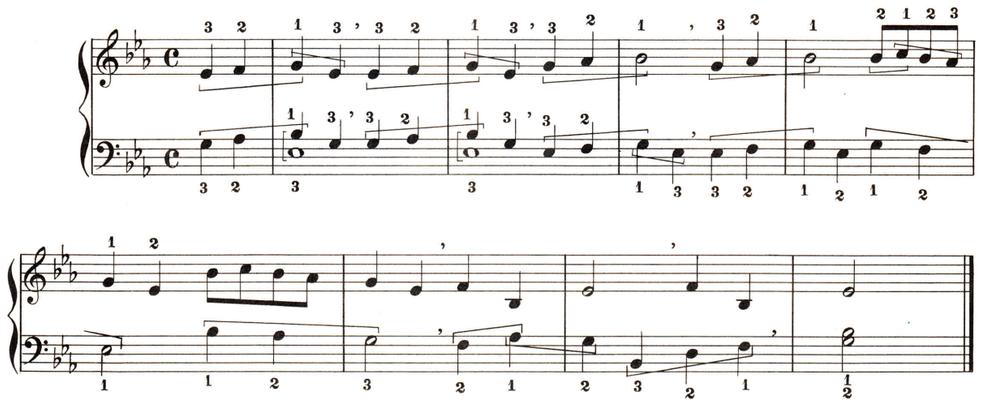




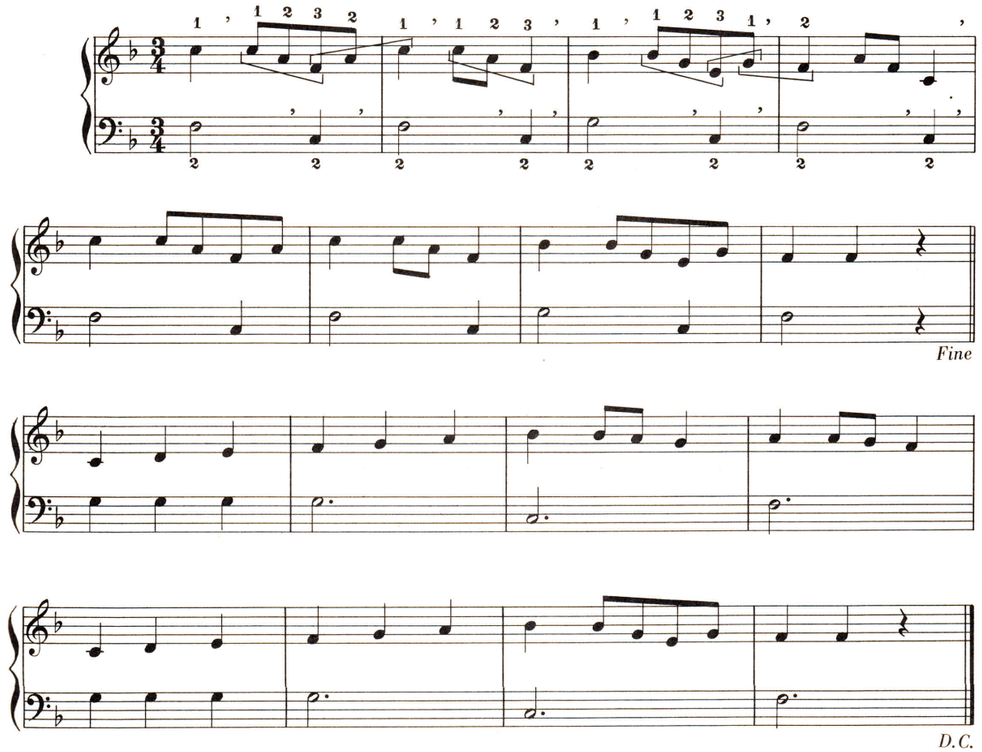


応　用　練　習

〈フレール　ジャック……フランス民謡〉



〈ひろい畑で……ドイツ民謡〉

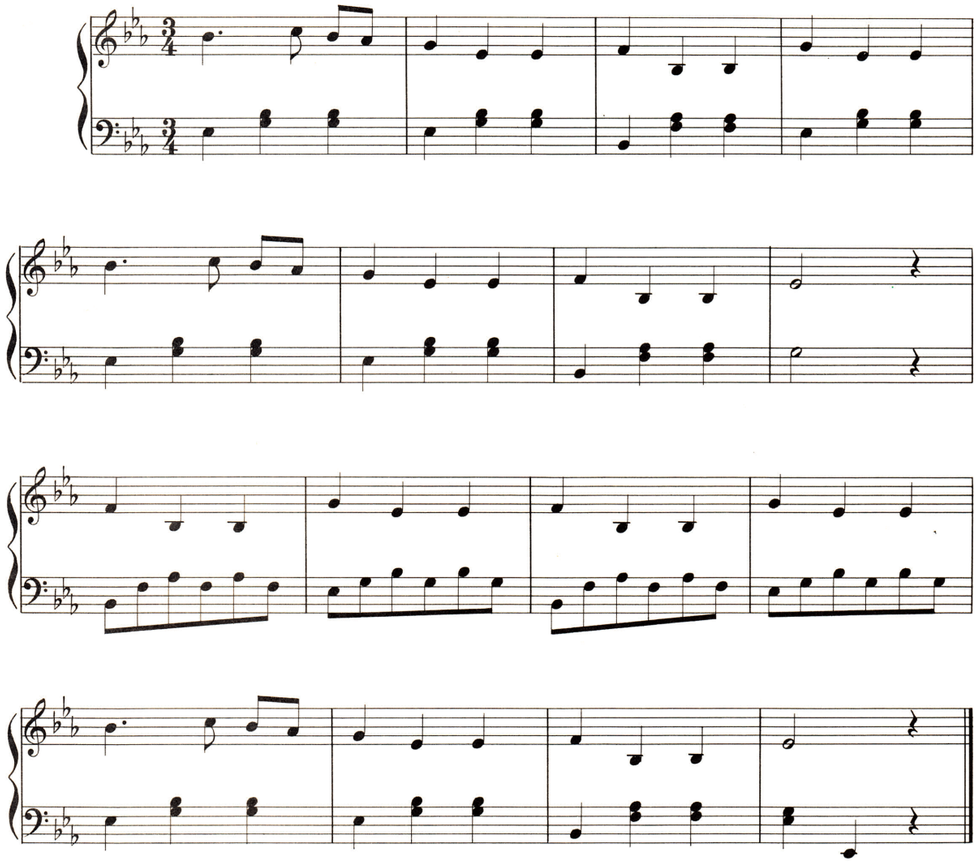


KOJI AMADA Collection

KOJI AMADA Collection vol.7

応　用　練　習

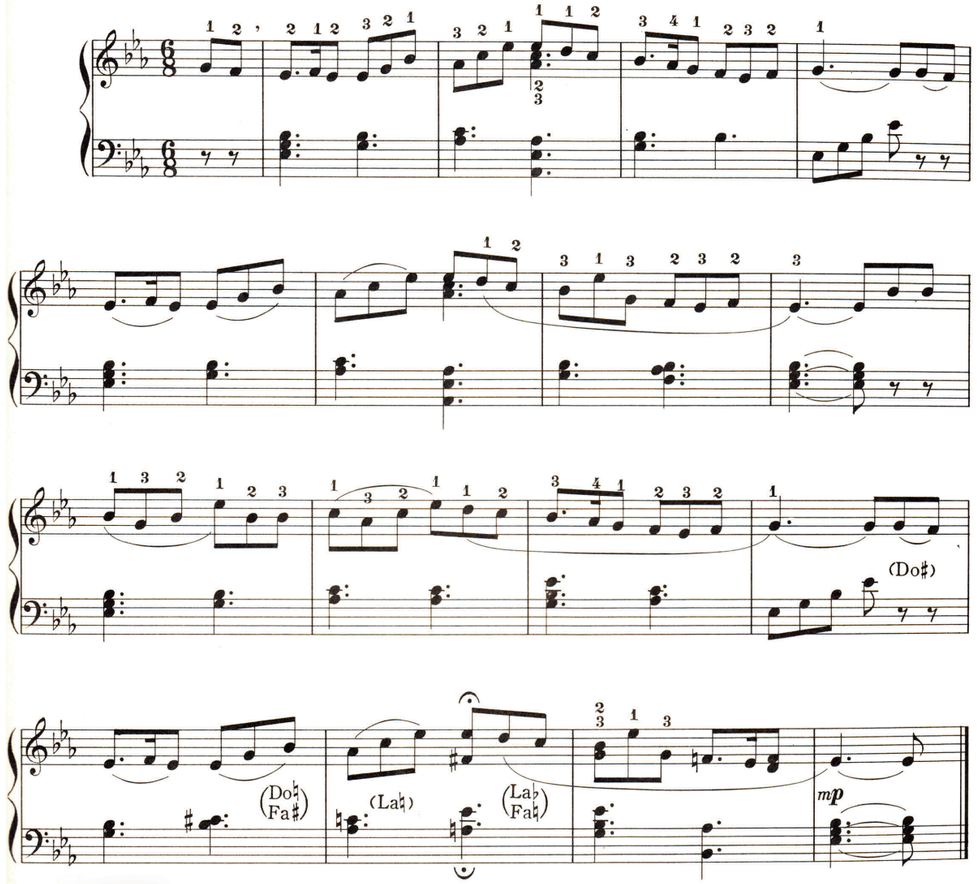
〈おどり……ドイツ民謡〉



アイルランドに 3 人の有名なハーピストが出た。オキャロランは歌とメロディーの 200 曲を作った。ヘンプソンは古典を重んじてつめを伸ばしてひき、ヤング・バイルは左の肩にハープをのせ、高音部を左手で、低音部を右手でひいた。かれはまた親指を垂直にした最初の人である。とりもなおさず近代演法の先べんをつけた名手であった。

応　用　練　習

〈春の日の花と輝く……アイルランド民謡〉



東洋にも箜篌(くご)と弓形のハープがあったが，いずれも支柱がない。アイリッシュやウェルズのハープは前方に支柱をつけて強い音を確保している。音階を変ホ長調にとり，Si, Mi, Laだけに筒形のフックをつけて上げ下げしたが，ジョン・エガンが前柱に七つのフックをとりつけ，左手で派生音を出すくふうをした。これが近代の足ペダルの前身である。

Harp Life CD Colleection

ハープライフ選定 ハープ銘盤コレクション

時を超えて、いつまでも残しておきたい
ハープの銘盤CDをご紹介してゆく
不定期連載のスタートです。

Harp Life
GOLD DISC

第1回

「風変りな店／マリア・グラーフ」

ドイツのハープ女王マリア・グラーフは、カラヤンがタクトを振っていた最盛期のベルリン・フィルで主席ハーピストという、生粋のドイツ人音楽家だ。エリートであり、型にはまっていた人だ。彼女の残す録音は、まず隙がない。そんな中で隠れ銘盤として推すのが、この「風変りな店」である。

本作は、いわばグラーフの“すっぴん“が晒されている。つまり「普段から弾きたいと思っている曲を、マイナーレーベルで忖度なしに弾きました」という体で録っている。ジャケットも地味だ。シュポア～グリンカ～レスピーギ～アルバースと続くラインアップに、特に脈絡はないのだが、ラヴェルの「亡き王女のパヴァーヌ」からスメタナ「モルダウ」へ畳みかけるラスト辺りで、この作品は長編小説作家が作った短編小説集のような趣だと気付く。どこまでも優美で自由で。ここでのグラーフは、楽器の女王と呼ばれるハープにはうってつけの、典雅な響きを常に損なわないが、実に闊達だ。選んだのは、たぶん自家薬籠中の曲ばかりだろうと推測できるのは、ハープが十分にコントロールされ、楽曲を精神的にも支配しており、ヤケにリラックスしているから。そして、選曲がどれも元来の完成度に歌わされてしまう側面も併せ持った曲ばかりなのである。ラストのラヴェルとスメタナなど最たる例で、「誰がどう演奏しても彼らの曲」という意識が、リスナー側にも形成されている曲で、軽やかにその垣根を飛び越えてみせるのだ。原曲に対し盲目的に倣うのではなく、「本来の私はこうなの」と語りかけてくる。プロコフィエフ「朝のセレナーデ／ロミオ＆ジュリエット」の、軽やかさの中に指先にまで魂を込めたような正確さは、どうだ。一歩間違えると冗長にさえなってしまう曲想も、グラーフはまず曲の明快な輪郭を浮かび上がらせ、冷静に隅々にまで色彩を埋めてゆく。持ち味の温かな音色と高雅な演奏は、徹底して凛とした緊張感を伴いながら、曲の芯の部分を鮮やかに表出させてゆく。“風変り”と言いながら、素の自分を表現したのもグラーフ一流のエスプリなのだろう。

お買い求めは、
こちらを
チェック!

季節のおすすめハープ

Vol.11

季節ごとに、毎号1台ずつ
銀座十字屋がおすすめする、
素敵なサルヴィハープ。
今回は「ガイア」です。

成長に合わせた
ペダルハープ入門機、
としての機能も有する。

サルヴィハープのネーミングは、そのハープの特徴をそのまま言い当てたようなものがあって、時折驚かされます。たとえば、このガイアという機種は、ギリシャ神話の地母神ガイアからその名をとったと思われますが、世界の始まりの時から存在した原初神であり、実は人間もこのガイアの血筋とされています。地上の多くのことがガイアからもたらされるため、信仰者が多い神でした。ローマ神話でいうところのテラ神です。“母なる神”であるゆえに、産みの苦しみを和らげ、自らもカオスの海から生まれ、多くの神々をひとりで産んできただけに、努力する者に微笑む女神でもあります。

まさにその名のとおり、ガイアは入門者のために設計されたハープです。かといって初心者専用というわけでもないのです。なぜなら、このレバーハープは、あえてペダルハープ用の弦を使用することで、順次ペダルハープを弾いていこうという方のサポートをしてくれるからです。ペダルと同じ弦の固さ、張力、音質で練習することができ、響板の材質も、サルヴィの誇るペダルハープと同じものを使用しているのです。つまり、成長に合わせた“ペダルハープ入門機“としての機能も有しているのです。事実、専用の20cm脚と10cm脚が最初から付属してくるのはこのハープだけで、成長に合わせたポジション調整が可能なのです。他のレバーハープと比べると、ガット弦の響きとそれを支えるボディも相まって、入門機離れしたリッチで温かい音が出ます。この機種のフィーリングで初心者の頃から慣れておくと、あなたがペダルハープに移行した際に違和感が少なく、無理なく上達のアシストをしてくれるというわけです。

もっとも、入門当初からペダルハープを弾いてきたという方もいますし、欧米ではペダルハープ奏者は、必ずしもレバーハープからの移行者ではありません。日本でもレバーファンに留まり、必ずしもペダルへは移行しない方もいます。しかしレバーの中堅機としても存在感たっぷりなガイアは、どちらの道を選択しても、きっとあなたに寄り添う頼もしいパートナーとなること請け合いです。

Gaia

ガイア